

アトピーの脱ステロイド治療後の  
皮膚症状の停滞が  
予防接種、薬害のレメディで  
改善し精神的にも成長したケース

高島亜希代

日本ホメオパシーセンター大阪本部

日本ホメオパシーセンター大阪都島(10月以降)

JPHMA認定ホメオパスNo.1031

ZENメソッド修得認定No.0467

# 【主訴（症状）】

10歳 女性 アトピー性皮膚炎

## 要約

1歳半ごろからアトピー性皮膚炎に対しステロイド剤の外用、抗アレルギー剤の内服をしていたが改善せず、母親が疑問に思いステロイドの使用を中止したが、離脱症状の後、皮膚症状の治癒が停滞。

皮膚が硬化して黒く、瘡蓋だらけの見た目から学校で辛い思いをしていたクライアント。

予防接種、薬剤、腸内細菌、水のレメディの使用から皮膚症状が改善し、大人しい受け身の性格から自発的な行動が増え精神的にも大きく成長した。

# 【経緯あるいはタイムライン】

0～1歳 ヒブ 肺炎球菌 ロタ BCG 三種混合 MR インフルエンザ  
ポリオ 定期接種通り

1歳半 ジュクジュクした湿疹が両足ひざ下に出始める  
ワセリンとステロイドの混合塗り薬を使用

2歳 湿疹が良くなり皮膚科を受診  
ワセリン ステロイド 抗アレルギー剤 外用と内服を7歳まで

7歳 脱ステロイド治療のクリニックへ  
ステロイド離脱症状 全身のかゆみ 浸出液 関節の痛み、かゆみによる  
不眠が1年続く 傷口に亜鉛華軟膏を使用  
とびひ 抗生剤を1週間服用  
アレルギー症状緩和のため抗アレルギー剤の服用 1年半

10歳 主にかゆみ、皮膚の乾燥  
登校するとAM11時頃から腹痛、給食を食べるとおさまる



# 【手法とレメディー選択】

第1回2022年4月23日

肌が乾燥していて痒く、傷（裂けたような、出血もあり）になっていて痛い。

便秘がち。（4日に1回くらい）

登校後、午前11時ごろになるとお腹が痛くなる。

ガスがよく出る。

随時：サポートCho-sai-n

長年の抗生剤や抗アレルギー剤服用による腸内細菌の乱れ  
便秘、腹痛に

+Kali-ar 12X かゆみに

朝：アルポCarb-v LM 風邪をひいても発熱できない

夜：アルポBry LM 乾燥した皮膚

Merc-sol LM 皮膚の痒み、出血 TBRより選択



# 第1回2022年4月23日～第2回6月4日

## 【結果】

2回の相談会で腹痛がなくなり排便の状態が改善。  
(便秘が1日短くなった)

皮膚の赤み、痒みも軽減してきた。

懸念していた学校の宿泊学習も参加できた。

夏休みに入ること、体調が良好なので、  
本人の希望もあり予防接種の害出しに挑戦してみることに。

第3回2022年7月16日～

第7回2022年12月23日

体調、体力的にも良好なので  
夏休みを利用して予防接種や薬のレメディをとる。  
(好転反応が出ても対応しやすい。)

皮膚の乾燥、赤み、痒みは軽減してきているが  
依然ある。

便秘をより改善していく。

第3回2022年7月16日～  
第7回2022年12月23日

[選択レメディ1]

随時:

サポートThuja-V0M5      サポートφMerc

腸内の状態が改善し健康である。予防接種をほぼ受けている。

サポートKan

害だしを補助、肝臓の臓器時間に合わせて夜に

他

第3回2022年7月16日～

第7回2022年12月23日

[選択レメディ2]

朝：アルポ

Sil LM しわがれて不健康な皮膚の状態

Hep LM 膿が出る皮膚に

昼：アルポ

Aen-D 30C Antibiot-C-D 30C ST-C-D 30C

長期外用していた薬剤のレメディ

Morg-g 30C 腸内細菌のレメディ

夜：アルポ

Staph LM 痒み、見た目で嫌がらせを受けてきた屈辱感

Sep LM 皮膚の症状に合う。とりわけ水に濡れて悪化する

Bry LM 乾燥した皮膚



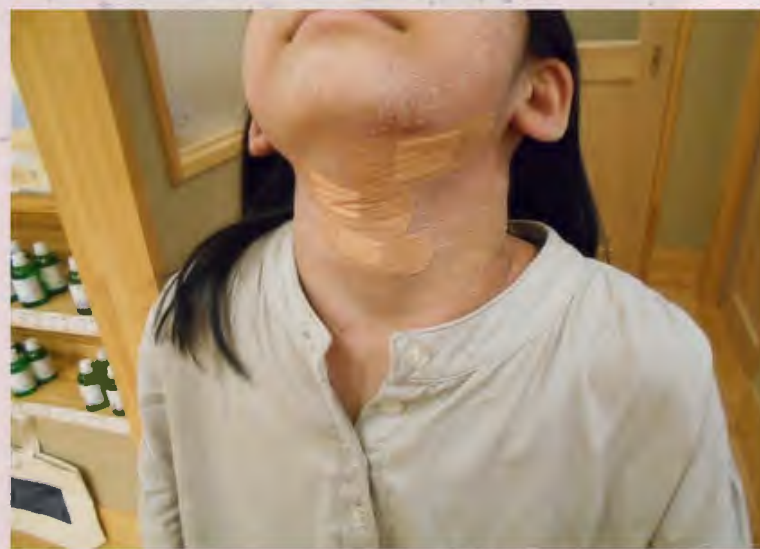


## 第3回2022年7月16日～第7回2022年12月23日

3回目以降、予防接種の害出し開始すぐに発熱。  
痒みなど皮膚の状態が一時的に悪化した  
そのままレメディを取り続け  
2週間ほどですっと赤みが引いてきた。

痒みで夜中に起きていたが朝まで眠れるように。  
搔いても傷にならなくなった。  
皮膚の色が象の皮膚のような暗い色から一皮むけて明る  
くなった。

2022年12月23日



暗い灰色だった皮膚が少し明るくなってきた

## 第3回2022年7月16日～第7回2022年12月23日

精神的にも・・・

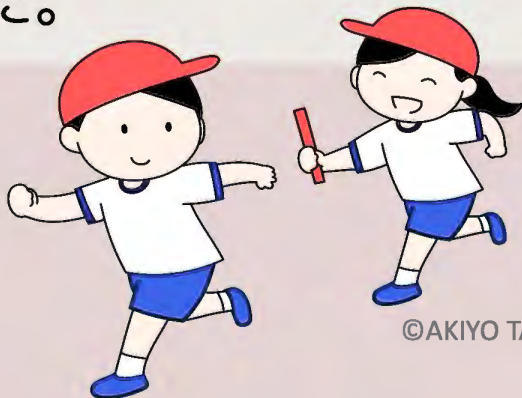
これまで何事にも「誰かがやればいいや」という態度だったが、運動会でリレーの選手に立候補した。

裸足で踊る競技も足に傷があるので靴を履いてするよう母から勧められていたが

「傷があってもみんなと一緒に裸足でやりたい！」

と自己主張と積極性が増し、母もとても驚いた。

予防接種のレメディの後、皮膚症状の改善だけでなく性格も自発的な行動が増えた。





順調よく行っていたが・・・

第8回 2023 2月4日～第10回 5月5日

順調よく経過していたが、アトピーの見た目からか男子生徒数人による執拗な嫌がらせが身の危険を感じるほどに悪化。

しばらく気丈に抵抗していたが親に相談し、担任の対応や他のクラスメイトのサポートでひとまずは収束したが。。。



どうしてこのような出来事が起こるのか？



どうしてこのような出来事が起こるのだろうか？

第8回 2023 2月4日～第10回 5月5日

相談会では・・・

「確かに彼らの行為は卑劣だけれども。

どうしてこういう出来事があなたに起こると思う？

『アトピーのある自分がダメなんだ。どうせ私なんて虐められて当然だ』と  
思っていない？」と問いかけたところ。

「ある」と言って涙を流した。

「例えレメディで皮膚の状態が綺麗になっても、

『悪いのは私だ。虐められて当然なんだ』という思いがあれば

また他の形であなたにそれを知らせるために事件が起きるよ、と伝え。

水のレメディを中心にサポートした。

# 第8回 2023 2月4日～第10回 5月5日

[選択レメディ]

サポートDOUSE

「どうせ自分なんて。虐められて当然だ」という精神に

サポートLYMPH 体内の流れを整えるため 他

朝:アルポ

Hep LM 継続

夜:アルポ

Staph LM 皮膚の状態に合うこと。虐めに合った屈辱

Lyc LM 便秘、自身のなさ

Candi-al 30C 甘いもの、乳製品が好き

## 第8回 2023 2月4日～第10回 5月5日

### この期間 使用した水のレメディ

Amenoiw-w. 30C 皮膚症状、痒みに

lizun-w. 30C 好転反応に対応するため。

その人に合った反応がでることから

Wakutam-w. 30C 自己卑下、自己肯定感、ダメな自分を許す

Gundar-w. 30C 悪い食べ物、予防接種によって傷を負った魂を癒す

Bonoor-w. 30C 肉体、精神、感情、心、魂 全てを浄化

感情の乱れを鎮め霊性向上

Daich-w. 30C 問題に逃げずに向き合う

レメディの他。甘い物、パスタ、パンなどの小麦製品、乳製品は皮膚や腸内の状態には良くないので減らしてゆくように指導

# 経過

6年生になり相談会ごとに皮膚の乾燥、赤み、傷や痒みが減っていつている。  
微熱（37℃前半）しか出せなかったが39℃近くまで発熱できるようになった。  
ガスが減った。（あ。そういえば！と忘れていたほど。）  
便秘が改善。（開始当時5日に1回くらい→2、3日に1回に）  
クラス委員に立候補した。朝、校門に立って在校生に挨拶をしている。

現在は・・・

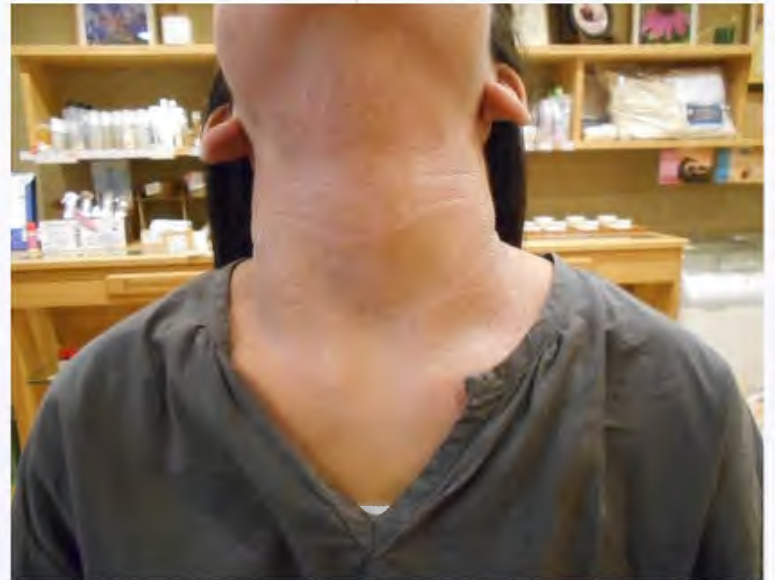
まだ皮膚の傷が染みて入浴できないので水への恐怖を克服すること、  
更なる便秘の改善。

アトピーである自分を受け入れることなどを継続して行っている。

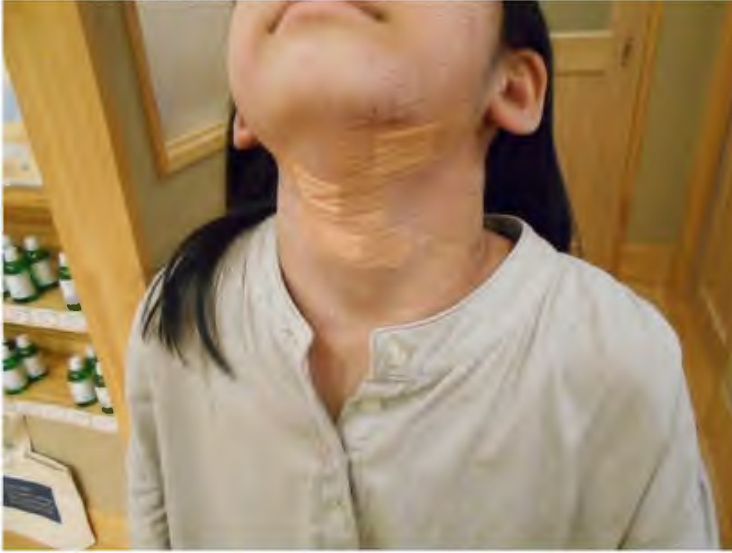


# 経過

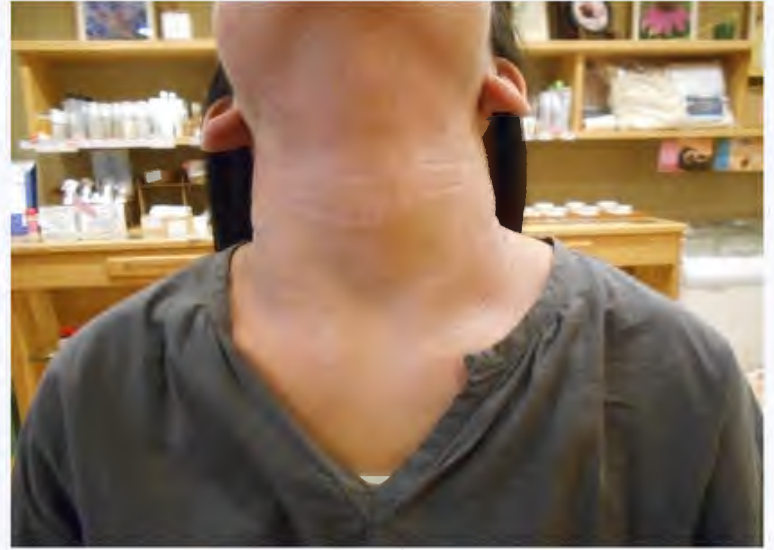
2023年第10回5月5日



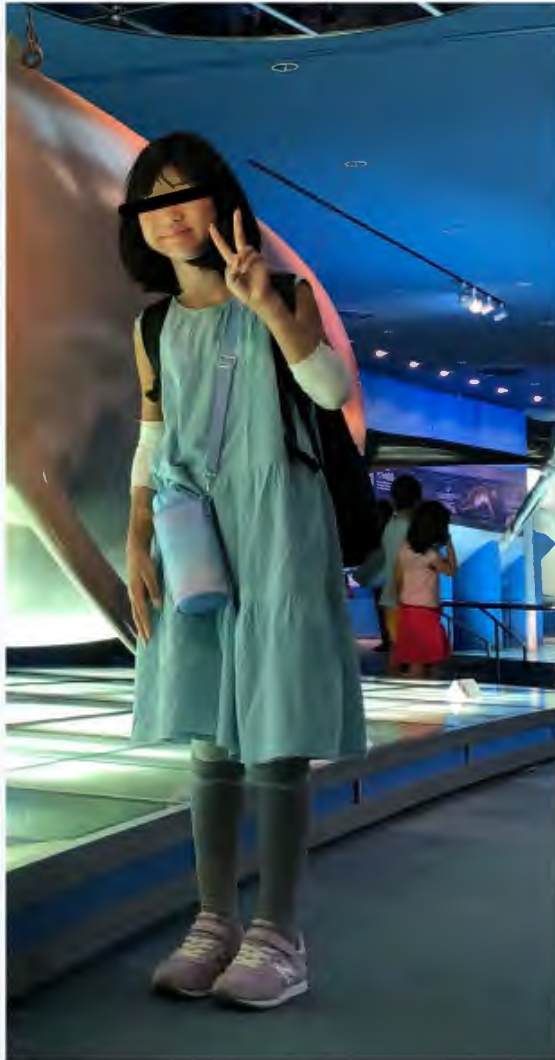
2022年12月23日



2023年5月5日







傷(裂けて血と液が出る)があり  
痛む他、見た目も気になり  
皮膚のひどいところを包帯で巻いていた  
(腕、脚) [相談会前 2021年夏]



見た目はまだ気になるので長いソックスを履きたいけれど  
包帯は巻かなくても大丈夫  
相談会におしゃれ(髪飾りなどアクセサリ)をして来てくれる  
ようにもなっています [2023年6月]

## 【考察】

長期の薬剤使用は禍根を残し根本解決には至らないことがよくわかるケースだった。

皮膚の症状で相談会に来られる方は総じて腸の状態も良くない。これはステロイドの他に抗生剤、抗アレルギー剤などの薬剤が併用されることで腸内細菌叢が乱され、皮膚の治癒を妨げることになっているのではないかと思われた。

以上のことから予防接種や薬剤のレメディとともに腸内細菌のレメディを取ることも必要だと考えられる。

本ケースでは先に腸内を整えたことで好転反応も乗り越えやすかったように思われる。



## 【考察】

1回目の相談会時。ホメオパスの反応を慎重に観察し母に確認をとりながら話すクライアントに、これまで見た目で心ない言葉や態度を浴びてきた様子が見えた。

「これまでたくさん辛く悔しい思いをしてきたでしょう？」と問いかけると、

涙を浮かべながらこれまでのいじめを話しはじめ、それを機に母も薬をやめても良くならないことにこの数年とても悩んできた、と苦しい胸の内が話され涙を流された。

初回で親子で声を出して泣けたので、その後インナーチャイルドの話などはすすめやすく、嫌がらせが起きた時も「なぜそれが起きるか？」という理解や癒しに水のレメディがとても効果を発揮したと思う。